

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月09日

計画の名称	快適で安全安心な生活環境の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	新居浜市												
計画の目標	公共用水域の保全と都市環境の改善のため、効率的に公共下水道整備を行い、快適で安全安心な生活環境の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,924	A	1,924	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29末)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	下水道処理人口普及率を向上させる 下水道処理人口普及率 下水道処理区域内人口（人） / 行政人口（人）	63%	66%	68%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠(汚水)	新設	汚水管渠(新居浜処理区)	管渠布設 L=22.0km	新居浜市						1,010	-	
	A07-002	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠(汚水)	新設	調査設計	管渠設計	新居浜市						194	-	
	A07-003	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	終末処理場	新設	新居浜市下水処理場	汚泥貯留ホッパ	新居浜市						120	-	
	A07-004	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	終末処理場	新設	下水道広域化推進総合事業(新居浜市下水処理場)	濃縮施設	新居浜市						580	-	
	A07-005	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	管渠(汚水)	新設	新居浜市公共下水道 計画策定	下水道化構想	新居浜市						20	-	
												小計						1,924	
												合計						1,924	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	203	243			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	203	243			
前年度からの繰越額 (d)	0	109			
支払済額 (e)	94	284			
翌年度繰越額 (f)	109	68			
うち未契約繰越額 (g)	58	8			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	28.57	2.27			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	当初見込んでいた事業が延期や中止されたため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 快適で安全安心な生活環境の実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている。	
I. 目標の妥当性 1) 社会資本整備重点計画、愛媛県全域下水道化基本構想等、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 総合計画、環境基本計画、都市計画マスタープラン等、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域課題（定住促進、安全・安心の確保等）を踏まえた目標設定となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 広域的観点から、整備地区の位置づけが行われている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と定量的指標（数値目標）の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画について住民等との合意形成ができている。	○

事前評価

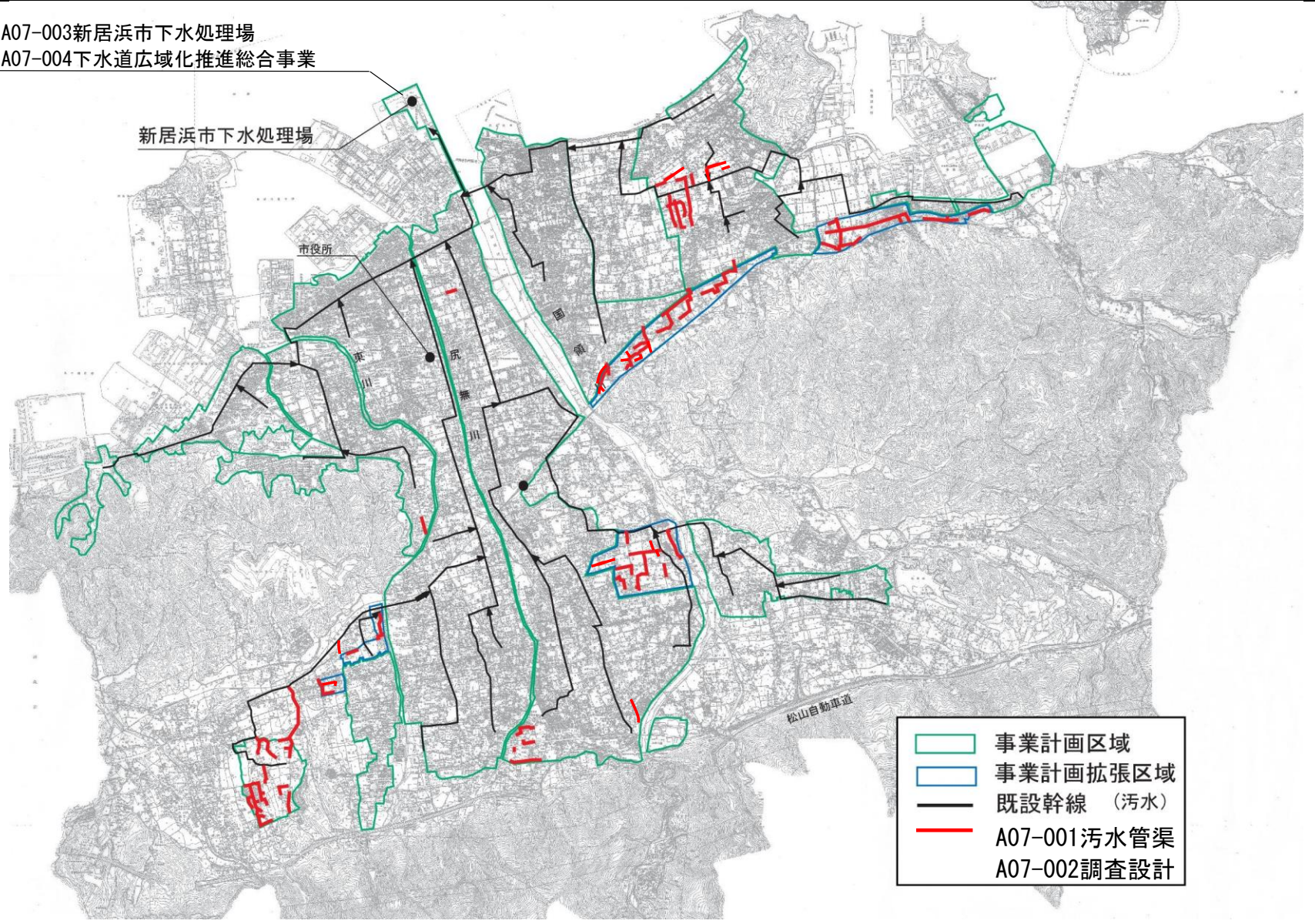
チェック欄

III. 計画の実現可能性 2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) 事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的な事業の展開が見込める。	○

計画の名称	快適で安全安心な生活環境の実現（重点計画）		
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	新居浜市

新居浜処理区計画図

A07-003新居浜市下水処理場
A07-004下水道広域化推進総合事業



- 事業計画区域
- 事業計画拡張区域
- 既設幹線（污水）
- A07-001污水管渠
- A07-002調査設計